令和元年度　岐阜県現代陶芸美術館　美術品等収集委員会　議事要旨

| | |
|---|---|
| 日時 | 令和 2 年 1 月 25 日（土）14：00～15：30 |
| 場所 | 2F 応接室、プロジェクトルーム |
| 出席者 | ○委員<br>石﨑泰之　山口県立萩美術館・浦上記念館副館長<br>伊藤嘉章　愛知県陶磁美術館総長、町田市立博物館館長<br>外舘和子　多摩美術大学教授、美術評論家<br>橋本麻里　ライター・エディター、永青文庫副館長<br>○事務局<br>高橋秀治　館長　榎本徹　顧問<br>原正憲　副館長兼総務部長　谷口輝己　副館長兼学芸部長<br>岡田潔　課長補佐（学芸部）　佐々木和哉　課長補佐（学芸部）<br>花井素子　主査（学芸部）　守屋靖裕　主査（学芸部）<br>山口敦子　主任（学芸部）　林いづみ　主事（学芸部） |

議事内容および委員からの意見

原副館長　開始の挨拶／委員、事務局員紹介
高橋館長　挨拶／進行手順説明
谷口副館長　調書に基づき提出作品、購入 7 点、寄贈 7 点の説明
＊プロジェクトルームへ引率し、提出作品を実見しながら、説明補足および質問に応対

**委員からの意見**（作品実見の最終意見）

**○加藤土師萌（No. 3）＜購入作品＞**
伊藤委員　面白いことをやっている。
外舘委員　陶胎のためか雰囲気もおおらかな印象を受ける。

**○成瀬誠志（No.4）＜購入作品＞**
伊藤委員　このような作品は初めてみた。
橋本委員　ローマのタイルのモザイク画のようだ。

**○セーヴル（No.7）＜購入作品＞**
石﨑委員　セーヴルはリバイバルでもそれなりの値段がする。妥当な額ではないか。

**○川端健太郎（No.8）＜寄贈作品＞**
石﨑委員　川端作品は初めての収蔵か。
林学芸員　3 点目になる。
石﨑委員　この作家の代表作と言えるのではないか。

高橋館長　今回ご覧いただいた購入、寄贈候補作品計 14 点について収蔵してよろしいか。
委員一同　よろしい。
高橋館長　それでは、14 点すべて問題なしというご意見をいただきましたので、購入、寄贈に向けて手続きを進めてまいります。本日はありがとうございました。